

# 決算特別委員会資料

議案第80号

令和3年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

- |  |              |         |
|--|--------------|---------|
| 1  | 歳入決算額        | ・・・P2   |
| 2  | 歳出決算額        | ・・・P2   |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">参考</span> | 消防局主要事務事業の概要 | ・・・P3～5 |

消防局

# 令和3年度北九州市一般会計決算について（消防局所管分）

## 1 歳入決算額

(単位：円)

款	項	目	節	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額
17	1	11	1 消防使用料	855,000	0	0	855,000	335,964	335,964	0
			2 消防手数料	42,655,000	0	0	42,655,000	28,480,425	28,480,425	0
18	1	3	1 消防費負担金(国)	6,707,000	0	0	6,707,000	0	0	0
			2 11 1 消防費補助金(国)	0	0	86,054,000	86,054,000	80,345,320	80,345,320	0
			3 6 1 消防費委託金(国)	3,000,000	0	0	3,000,000	2,915,000	2,915,000	0
19	1	6	1 消防費負担金(県)	124,000	0	0	124,000	89,000	89,000	0
			2 8 1 消防費補助金(県)	104,654,000	0	0	104,654,000	104,985,000	104,985,000	0
20	1	1	1 土地貸付収入	2,425,000	0	0	2,425,000	2,353,992	2,353,992	0
			2 建物貸付収入	4,491,000	0	0	4,491,000	5,832,156	5,832,156	0
21	1	7	1 消防費寄付金	0	0	0	0	5,000,000	5,000,000	0
22	1	4	1 市民太陽光発電特別市民還元事業	8,000,000	△8,000,000	0	0	0	0	0
24	6	4	30 消防費雑入	129,756,000	0	0	129,756,000	109,696,260	109,696,260	0
25	1	11	1 消防債	1,605,400,000	0	42,200,000	1,647,600,000	1,525,500,000	1,525,500,000	0
合計				1,908,067,000	△8,000,000	128,254,000	2,028,321,000	1,865,533,117	1,865,533,117	0

## 2 歳出決算額

(単位：円)

12款 1項 消 防 費	予 算 現 額					支出済額	翌年度繰越額	不用額
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	計			
1目 消防職員費	9,282,990,000	△ 67,658,000	0	0	9,215,332,000	9,048,429,145	0	166,902,855
2目 常備消防費	823,866,000	△ 8,000,000	71,000,000	6,800,000	893,666,000	849,409,405	0	44,256,595
3目 非常備消防費	410,174,000	0	0	△ 12,452,230	397,721,770	344,087,130	0	53,634,640
4目 消防施設費	2,183,077,000	0	59,688,000	5,652,230	2,248,417,230	2,197,760,602	0	50,656,628
合 計	12,700,107,000	△ 75,658,000	130,688,000	0	12,755,137,000	12,439,686,282	0	315,450,718

参考 消防局主要事務事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
地域の総合的な災害対応力の強化	① 消防団の充実強化	<p>老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、消防団装備の充実強化を図った。 また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆門司消防団 第9分団喜多久支部新築（大字喜多久）</li> <li>◆小倉北消防団 第4分団本部新築（江南町）</li> <li>◆小倉南消防団 第3分団沼支部新築（沼緑町四丁目）</li> <li>◆八幡東消防団 第6分団田代支部新築（田代町）</li> <li>◆活動服300着、防火衣170着を整備</li> <li>◆吸管離脱器95基を整備</li> </ul>	112,007
	② 市民防災活動への支援	<p>「市民防災会」を対象に防災リーダー研修を12回（264名）実施するなど、地域の防災力向上のための支援・指導を行い、消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進した。</p>	6,589
	③ 応急手当の普及啓発活動の推進	<p>市民の救命効果の向上を図るため、AED（自動体外式除細動器）の取扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を行い、各種救命講習を304回（11,405名）実施した。</p>	1,122

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	④ あんしん通報システム	ひとり暮らしの高齢者や重度の身体障害がある人などの世帯に火災センサーなどを接続した緊急通報装置を設置し、火災・救急等の緊急事態や相談通報などへの対応を行うことにより、安心して生活できるよう支援した。  ◆令和3年度末 稼働数：2,661台	435  ※上記の他、 保健福祉局所管分 (介護保険特別会計) 50,506
	⑤ いきいき安心訪問の推進	介護職員初任者研修を修了した消防団員を中心に、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身の回りのお世話をを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図るもの。 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、訪問事業を中止し、火災予防広報のチラシを郵送した。	352
	⑥ 住宅防火対策の推進	住宅火災による死者の発生を防ぐため、設置から10年が経過した住宅用火災警報器の交換と定期的な点検・清掃について啓発を強化するなど、高齢者世帯等を中心とした住宅防火対策を推進した。	791
	⑦ Net119緊急通報システム	119番通報が困難な聴覚又は音声・言語機能の障害や疾病等がある方が、外出先からでも、スマートフォン等の簡単な操作で119番通報ができるシステムを運用した。  ◆令和3年度末 登録者数：113名	1,892

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	支出済額
あらゆる災害に対応できる消防力の強化	⑧ 水難救助用資器材整備事業	近年の豪雨災害における教訓を踏まえ、救命胴衣やウェットスーツ等の水難救助用資器材を整備した。	5,731
	⑨ 救急体制の充実強化	救急救命士10名（6名を新たに資格取得させ、病院実習未修了者4名を病院実習に派遣）を養成した。	14,460
	⑩ 第49回全国消防救助技術大会の開催	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3年度に延期されたことから、安全な大会運営とするため、感染症対策の検討を行うとともに、シンボルマークデザインの作成等の企画を行い、開催の準備を進めた。 ※令和3年6月25日に中止が決定された。	1,089
	⑪ 消防通信指令システムの中間更新	119番通報の受付から消防部隊の編成や出動指令など、消防活動の土台となる消防通信指令システムについて、今後の安定稼働と長期継続使用を可能にするため、パソコン、サーバ、ネットワーク機器等の一部を更新した。  ◆令和2年度 契約締結 ◆令和3年度末 運用開始	962,500
消防施設等の整備	⑫ 消防施設の長寿命化	災害時の防災拠点となる消防施設の長寿命化を図るため、建築物や建築設備の改修を計画的に進めた。  ◆訓練研修センター（実施設計、改修工事） ◆門司消防署門司西分署（実施設計） ◆八幡西消防署黒崎分署（改修工事）	36,912
	⑬ 消防団施設の耐震化	災害発生時等の防災拠点となる消防団施設の耐震化を促進するため、耐震診断の結果に基づき、耐震補強工事を行った。  ◆小倉南消防団 第4分団上曾根支部（上曾根三丁目） ◆小倉南消防団 第9分団井手浦支部（大字井手浦）	3,816